キミウタ作品カード

曲名 COSMOS

ミマス 作詞・作曲
富澤 裕 編曲

この曲は！

出会った瞬間から人々に愛される曲になるだろうと直感しました。実際に多くの人たちがこの曲をほんとうに好きでいて、杉本竜一さんの『Believe』や山崎朋子さんの『大切なもの』と並ぶような、メッセージ力をもったたいへん優れた作品だと思います。僕自身もすぐにこの曲は大好きになりましたし、この歌をもっと上手に、もっとすてきに歌うためにはどうしたらよいか、常に思いを巡らせています。それはとても楽しいことです。

藤原式練習法

まずは、冒頭の「夏の草原に」から始まる８小節間のユニゾンを、変ホ長調を意識しながら歌ってみてください。メロディーの要所に出てくる主音のミ♭をしっかり意識しながら歌うことで、調性、音階の軸の安定したフレーズの流れを感じることができるようになるでしょう。

その次の「君の温もりは」から出てくるアルトパートの対旋律は、ソプラノパートの皆さんも一緒に歌ってみてください。主旋律と対旋律を両方生かすためにどうしたらよいかをディスカッションしてみるのも効果的です。

「百億年の歴史が」からは音楽が動き出し、いろいろなパートのメロディーに♭が出てきて、味わいが濃くなります。これらを全て感じてしっかり歌うことで、満を持してサビのメロディーへ入ることができるでしょう。

具体的なアドバイス・ポイント

この曲の演奏や練習でよく見受けられるのが、「光の声が」の「こ」と「え」の間でメロディーを切ってしまう歌い方です。苦しくならないようブレスを工夫して、１つの単語の途中で切らないというのがポイントになります。それから「声が」の「が」の鼻濁音を美しく発音すること。そして、そのあとに出てくる「みんなみんな」の「n」を響かせて歌うことも大切です。「光の声が」からのサビのメロディーは、高いミ♭からスタートして低いミ♭に着地します。ここも主音のミ♭をしっかり意識して歌うことで、すてきなメロディーラインを表現してください。気持ちよく歌い上げるところこそ、調性感は大切で、後の転調が効果的になるでしょう。「みんなみんな」の下行形では、音のエネルギーが抜けてしまわないように、しっかりと支えていきましょう。

この曲を初めて歌う人に

この曲は、歌詞と音楽が見事に融合して、歌っていて気持ちのいい曲だと思います。美しい歌詞の連鎖の中で、好きな言葉にありったけ思いを込めて歌ってください。『COSMOS』は、それぞれ自分たちの好きなところを、自分の思うように歌っていい曲だと思います。

表現を深めよう

この曲は、サビの部分が全部で４回出てきます。この４回全てに変化をつけて歌うことが大切です。毎回同じパターンで歌うのではなく、新たな気持ちで次へ次へと高みを目指していくように。その象徴となるのが、４回目に変ホ長調からホ長調に転調する部分です。この気持ちの高まりを大事にしていくことで、表現がより深まっていくと思います。

より感動的に歌い上げるためのアドバイス

この曲を覚えて歌えるようになったら、パートごとの並びにこだわらず、ミュージカルのエンディングテーマを歌うように、全員が遠くを見つめて歌うとよいでしょう。もちろん隣の人との関係は大切に感じながらになりますが、指揮を見て歌うのではなく、それぞれが星空を感じたり、風を感じたり、緑を感じたり、地球を感じたりしながら、キラキラと歌ってほしいと思います。